



新春代表挨拶

2026年1月6日

2026年 新春を迎えて – ご挨拶と誓いの言葉

一般社団法人 あぶくまエヌエスネット 代表理事 進士 徹

2025年の振り返りと、30年の歩みの中で見えたもの

あぶくまエヌエスネットが「体験交流」と「農」の二つの柱で歩み始めてから、今年で丸30年を迎えました。これも皆様の熱い応援と励ましのおかげと感謝しております。
決して順風満帆ではなく、波乱万丈の荒波を乗り越えながら、ここまで歩んでくることができました。その中でも、最も大きな出来事は15年前の「東日本大震災・原発爆発事故」でした。
長年積み上げてきたつながりや体験交流の場は、一瞬で崩れ去りました。

しかし、そこで立ち止まらずに生まれたのが「ふくしまキッズ」の活動です。
放射線への不安から子どもたちが外で思い切り遊べない状況の中、県庁からの強い反対や圧力もありましたが、私の覚悟は揺らぎませんでした。
爾々と6年間活動を続け、参加した子どもたちは今、社会で活躍する立派な若者へと成長しています。

2025年もまた、ぽんた山を中心に多くの学びと挑戦がありました。
ぽんた山元気楽校の春・夏・冬の合宿は定員に達し、少人数ならではの心の通い合いが生まれました。

村の新たな取り組み「保育園留学」では、ゲストハウスを拠点にした滞在型の交流が広がり、地域に新しい風が吹き込みました。
また、MISO SOUP 北川さんが専任講師として何度も鮫川村に足を運び、若い世代、特に陽平(ペー)に多くの刺激と学びを与えてくれました。

村の未来が少しずつ形になり始めたことは、大きな励みとなりました。
一方で、完全オーガニックの稲作に挑戦したものの、一昨年は不作という厳しい現実にも直面しました。しかし、この経験を糧に、陽平も学びと研究を重ね、今年の再挑戦！！秋には豊作となりました。

さらに、防災ワークショップ「まさかの時の生き残り塾」は多くの反響をいただき、各地での開催が予定されています。

そして、昨年在庫がゼロとなった拙著の続編として、新刊『超図解 災害サバイバルガイド』が農文

協より本年 2 月に出版されます。災害の多い日本において、日常の中で備える力を多くの方に届けられれば幸いです。

❶ 世界の混乱の中で、私たちができること

世界では戦争や対立が広がり、混乱が続いている。

だからこそ、私たちは目を背けず、小さな自然学校「ぽんた山元気楽校」から、平和を願う学びと気づきの場をつくり続けます。

土に触れ、仲間と協働し、気づき、動き出す子どもたちを、これからも全力で応援していきます。

今年確実に実施する3つの柱

1. ぽんた山 夏・冬・春の合宿
2. 日帰り食農体験(首都圏の親子は宿泊も可)
3. 防災サバイバル塾の開催

どれも「生きる力」を育む大切な学びです。コミュニケーション力、創造性、協調性も自然と育まれます。

△ 新事業「レンタルします ぽんた山」

企業、団体、学校、森の幼稚園、小グループなどが、ぽんた山を丸一日使って研修・体験・遊びを行える新しい取り組みです。

- ・ 農業・林業体験
- ・ 石窯でのピザ・パン焼き
- ・ プロジェクトアドベンチャー
- ・ 1日遠足 など

チームビルディングにも最適な、唯一無二のフィールドとして活用していただけます。

◆ 農業分野の挑戦と未来

鮫川村は昨年「オーガニックビレッジ宣言」を行いました。

これに伴い、稲作・畑作のオーガニック化をさらに進め、学びたい方への研修も行っています。

日本全体で農業の担い手不足が深刻化する中、行政との連携を深めながら、

「農で生きていきたい若者」を陽平を軸に育てていく。そんな未来を描いています。

■ 年間スケジュールと今後の情報発信

年間の予定は「あぶくまカレンダー」に随時掲載します。

また、ホームページでも 4 月以降のプログラムを順次予告として公開していきます。

◎ 課題の多い地域だからこそ、笑顔で歩む

あぶくまエヌエスネットの拠点・鮫川村には多くの課題があります。

しかし、苦しむのではなく、笑顔で乗り越えることを大切にしています。

笑顔のあるところに、人は集まります。今年も楽しく、賑やかに歩んでいきます。

ぜひ皆さんも、その仲間に加わってください。お願ひいたします。

 YouTube 動画リンク「新春のメッセージを動画でもお届けしています」